

教科	工業	科目名	インテリア計画	単位数	2
学科	インテリア	学年	2 学年	履修区分	必修
使用教科書	インテリア計画 (実教出版)				
副教材など					

1. 科目の目的

要求された空間に、人体寸法や物理的条件・心理的条件を踏まえながら、仕上げ、造作、家具、テキスタイル、照明器具、設備機器を組み合わせ、空間を計画することができる基礎的な知識とその知識を実際に活用する能力と技術を習得することを目的とする。

2. 授業の内容と進め方

造形の原理、環境条件、人間工学、寸法計画、インテリアエレメント、各種空間の計画を具体的な設計例や、身近な現象、データを用いて学習を進めていく。また現代社会において必要不可欠な、高齢社会に対応したユニバーサルデザイン、および環境に配慮した室内空間の計画を要所におこみ、具体例を提示し学習をおこなう。

3. 学習する上での留意点

講義のみの授業にならないよう、設計例、プリントやプロジェクターを使用し視覚的に理解を深める。また、実習や製図の内容に関連がある単元では、そのことについて詳しく説明をし、連携を取って学習を進めて行く。

4. 課題等について

- 1) 各単元において小テストを行い、そこまでの内容理解度のチェックをする。理解がされていれば合格とし、理解が不足していれば補習・再テストを受け合格するまで繰り返す。
- 2) 長期休業中にレポートおよび課題プリントを与え、期限内に提出させ理解度のチェックをする。

5. 成績評価規準(評価の観点及び趣旨)

評価の観点	評価規準
関心・意欲・態度	身近な生活空間の諸事象に関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいるか。
思考・判断・表現	インテリア計画に関する基本的な知識を身につけ、具体的な事象に対して適切に判断でき、創意工夫する能力を身につけているか。
技能	インテリア計画で学習した内容を実習や製図などで関連付け、要求された空間に、諸条件に沿った適切なプランニングをおこなうことができるか。
知識・理解	インテリア計画の基本的な技術を習得し、その意義や役割を理解し、提案されたプランを適切に評価することができるか。

6. 評価の方法

評価については、定期考査の成績や課題の提出状況を平常点として加え、総合的に判断する。

- 1) 定期考査および実力考査
- 2) 課題への取り組み
- 3) 授業への取り組み(出席状況・発表・意欲・ノートの内容)

《指導計画》 科目名 インテリア計画

2 学年

2 単位

学期	月	学習内容 (単元・考查等)	学習のねらい	評価方法等	
一 学 期	4	4. インテリアと人間工学	人体寸法は空間や家具、機械等を設計する最も基本的なデータである。ここでは、人体寸法の概略値、姿勢、作業域、動作空間を取り上げ、姿勢の観察や動作分析を通して具体的に理解させ、家具・空間の設計に活用できるよう学習する。	行動観察 質疑応答 課題提出 中間考查	
		4.1 人間工学			
		4.2 人定寸法			
		4.3 動作・作業域・動作空間			
		4.4 インテリアへの応用			
	5	4.5 インテリアの安全			
		5. 寸法計画と規模計画		要求される空間の規模に応じた収納能力やサービス能力の決定方法から、プランニングの基本的な考えであるモジュラーコーディネーション、グリッドプランニングを設計例を交えながら学習する。	行動観察 質疑応答 課題提出
		5.1 空間の目的と計画			
		5.2 寸法計画			
		5.3 モジュラーコーディネーション			
	5.4 グリッドプランニング				
	7	5.5 配置と動線		空間に配置されるものすべてが「インテリアエレメント」に該当する。生活模様に変化により要求されるエレメントも変化しそれに対応できる能力が要求される。種類および分類を実製品や写真を用い理解を深め取扱いまで学習する。	小テスト 期末考查
6. インテリアエレメント					
二 学 期	9	6.1 インテリアエレメントの種類	住宅は最も快適さが問われる空間である。その快適性を提供する為に必要な寸法の計画から居室の配置構成までを様々な設計例を用い、高齢社会に対応したユニバーサルデザインを考慮した住宅の設計を踏まえ学習する。	行動観察 質疑応答 中間考查	
		6.2 インテリアエレメントの計画			
		7. 各種空間の計画			
		7.1 住宅			
	10	1 住宅の種類		オフィス空間には、時代のニーズと共に臨機応変に対応する空間が望まれる。時代の流れと共にどのようなオフィス空間を構成し提供しなければならぬかを、過去の事例から最先端のオフィスビルまでを例にとり学習する。	行動観察 質疑応答 課題提出 小テスト 期末考查
		2 住宅の計画			
		3 各室の機能			
		4 設計例			
	11	7.2 オフィス		商業施設では、利潤の為の施設が追求される。施設内の配置や陳列棚の陳列方法と人間心理や購買意欲との関係を学習する。	行動観察 質疑応答 小テスト 学年末考查
		1 オフィス空間の構成			
		2 空間の計画			
		3 設計例			
12	7.3 商業施設	学校施設では、教育制度の移り変わりにより要求される施設が変化している。過去の事例から現代の学校施設を例にとり学習する。	行動観察 質疑応答 小テスト 学年末考查		
	1 商業施設の種類の種類				
	2 空間の計画				
	3 設計例				
	7.4 その他の施設				
1	1 学校	図書館は情報を扱うだけの施設にとどまらず、地域のコミュニティとしてもその役割を担っている。設計例をとりあげながら、図書館の基本的な機能を学習する。	行動観察 質疑応答 小テスト 学年末考查		
	2 図書館				
2	1 学校	図書館は情報を扱うだけの施設にとどまらず、地域のコミュニティとしてもその役割を担っている。設計例をとりあげながら、図書館の基本的な機能を学習する。	行動観察 質疑応答 小テスト 学年末考查		
	2 図書館				
3	1 商業施設の種類の種類	図書館は情報を扱うだけの施設にとどまらず、地域のコミュニティとしてもその役割を担っている。設計例をとりあげながら、図書館の基本的な機能を学習する。	行動観察 質疑応答 小テスト 学年末考查		
	2 空間の計画				
3	2 図書館	図書館は情報を扱うだけの施設にとどまらず、地域のコミュニティとしてもその役割を担っている。設計例をとりあげながら、図書館の基本的な機能を学習する。	行動観察 質疑応答 小テスト 学年末考查		
	3 設計例				